経常収益合計		249,666,118,305
経常損失		313,542,887
臨時損失		
財産処分損	112,579,801	
支払準備金繰入	11,054,411,343	
前期損益修正損	22,732,100	11,189,723,244
臨時利益		
支払準備金戻入	10,758,616,338	
前期損益修正益	26,745,988	10,785,362,326
当期純損失		717,903,805
当期総損失		717,903,805

キャッシュ・フロー計算書

（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

（単位：円）

Ⅰ　業務活動によるキャッシュ・フロー		
短期給付金支出	△	133,050,806,920
拠出金等支出	△	117,913,288,521
その他の業務支出	△	180,038,451
共済掛金収入		228,312,330,399
介護掛金収入		20,710,274,071
老人保健拠出金還付金収入		1,848,399
その他の業務収入		191,619,634
小　計	△	1,928,061,389
利息の受取額		87,911,573
業務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,840,149,816
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△	38,900,000,000
定期預金の払戻による収入		38,000,000,000
譲渡性預金の払戻による収入		300,000,000
有価証券の取得による支出	△	4,061,232,328
有価証券の償還による収入		4,059,128,795
投資有価証券の売却による収入		1,993,600,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,391,496,467
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー		―
Ⅳ　資金に係る換算差額		―
Ⅴ　資金の減少額	△	448,653,349
Ⅵ　資金期首残高		4,418,398,279
Ⅶ　資金期末残高		3,969,744,930

損失の処理に関する書類

（単位：円）

Ⅰ　当期未処理損失		717,903,805
当期総損失	717,903,805	
Ⅱ　損失処理額		
積立金取崩額	717,903,805	717,903,805

行政サービス実施コスト計算書

（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

（単位：円）

Ⅰ　業務費用			
(1)　損益計算書上の費用			
業務費	249,973,360,051		
雑損	6,301,141		
臨時損失	135,311,901	250,114,973,093	
(2)　（控除）自己収入等			
掛金収入	△228,735,533,743		
介護掛金収入	△ 20,713,181,658		
還付金収益	△ 1,848,399		
財務収益	△ 81,556,770		
雑益	△ 133,997,735		
臨時利益	△ 26,745,988	△249,692,864,293	
業務費用合計			422,108,800
Ⅱ　行政サービス実施コスト			422,108,800

注　記　事　項

Ⅰ　重要な会計方針

１．法令に基づく引当金等の計上根拠及び計上基準

支払準備金

短期給付額（医療給付）の支払いは、受診から２か月遅れで支払い、掛金は１か月遅れで納入されるため、決算時点では２か月分の債務と１か月分の債権があることになり、この差１か月分の支払いに備えるため、日本私立学校振興・共済事業団の財務及び会計に関する省令第33条第２項に基づき、当該事業年度における短期給付額の１／12に相当する金額を計上しております。

平成26年度決算においては、短期給付額の合計が132,652,936,106円となり、その１／12に相当する金額は11,054,411,343円（小数点以下切上げ）となります。

２．欠損金補てん積立金の計上基準

将来の欠損金の補てんに充てるため、内規に基づき、当該事業年度の利益金を当該事業年度以前３事業年度の短期給付額の平均額の10／100に相当する金額に達するまで欠損金補てん積立金として計上しております。

当該事業年度以前３事業年度の短期給付金の平均額（平成24年度126,488,546,264円、平成25年度129,103,396,056円、平成26年度132,652,936,106円、合計388,244,878,426円の１／３（平均）＝129,414,959,475円）の10／100に相当する額は12,941,495,948円（小数点以下切上げ）となります。

欠損金補てん積立金12,668,012,291円に対する不足額は273,483,657円となるため、積立金を取り崩すこととなります。